



公益財団法人
東京都農林水産振興財団

お話を
伺いました

公益財団法人
東京都
農林水産振興財団

花粉の少ない森づくり運動担当
課長
河野 章さん

森の事業課花粉対策室
室長
高木 章雄さん

森の事業課花粉対策室
課長補佐
西澤 敦彦さん

東京都の森林循環促進事業を行う東京都農林水産振興財団では、スギ花粉発生源対策として、スギ林の伐採と花粉の少ないスギへの植え替えを実施しています。東京都福祉保健局の調査によると、2016(平成28)年度の都内におけるスギ花粉症推定有病率は48・8%で、10年前(28・2%)に比べて大きく割合が増えていることがわかりました。スギは植林から30年を過ぎると本格的に花粉が発生するといわれており、成熟した多摩地域の森林からは多くの花粉が飛散している状態です。

同財団花粉対策室長の高木章雄さんは、「東京都では関係16局により花粉対策本部を構成しており、その対策の一つとして、この森林循環促進事業があります」と説明。2006(平成18)年から多摩地域を中心に伐採・植え替えに取り組んでいます。その背景には民間での伐採が困難になったことがあると、同室課長補佐の西澤敦彦さんは言います。

「輸入材が台頭し国産材の価格が下がるとともに、人件費や伐採搬出の経費が高騰したことが原因です」

東京の森林の伐採が滞り、東京の木材市場の継続も危ぶまれる状況となり、都の事業が始まりました。森林所有者にとって大きな負担となる伐採・植林・保育を請け負い、民間に委託するかたちで遂行し、2013

「とうきょうの木」を循環させるには



年の保育のうちに生長した森林を所有者に受け渡すというのが、この事業の特徴です。現在、東京の原木市場に入荷する多摩産材の約80%が同事業による木材となっています。

森林循環を促進させる都民の理解

森林循環の大事な要素である木材



上右&中：スギ伐採の様子 下左：花粉の少ないスギを植栽する様子



の活用についても、同財団では精力的に取り組んでいます。森林循環促進事業により収穫された木は「東京の木多摩産材(愛称：とうきょうの木)」として認証され、市場に出荷されます。現在、とうきょうの木はJR青梅線奥多摩駅(奥多摩町)などの交通施設、GREEN SPRINGS(立川市)

やnonowa武蔵小金井(小金井市)などの商業施設、また多摩信用金庫本店(立川市)など、たくさんの人が行き交う施設に使用されています。

森林循環促進事業ととうきょうの木の活用について、花粉の少ない森づくり運動担当課長の河野章さんが次のように説明してくれました。

「森林事業はかなりスケールが大きく、短いスパンで事業効果を測ることが難しい事業です。そのためにも、花粉対策や環境改善という森林循環が果たす役割をPRし、多くの人の目に触れ、都民の理解を得ることが重要だと思っています」

河野さんが担当する「花粉の少ない森づくり運動」では、寄付を募るとともに、植林や木工教室などのイベントに参加できる会員制度を設けたり、SNSやYouTubeでの情報発信も行うなど、森林循環やとうきょうの木の認知向上に励んでいます。

「東京の森林やとうきょうの木という存在をまずは知ってもらい、一般の方々が東京の木を意識して使うという行動変容につなげ、最終的には森林産業の発展に貢献できればと考えています」



多摩産材の利活用例
奥多摩町 奥多摩駅舎の外観
写真提供：東日本旅客鉄道株式会社



多摩産材の利活用例
日野市 京王あそびの森HUGHUG

みんなで花粉の少ない森づくり運動

健全な森林の循環を維持するために、誰にでもできるサポートがあります

① すぐにサポート 花粉の少ない 森づくり募金

クレジットカード決済や銀行振込などで気軽に個人でできます。花粉の少ないスギなどへの植え替えに充てられる募金です。

② みんなでサポート 企業の森

企業や団体が、森林整備相当額の寄付や森林ボランティアなどの活動を通して行う森づくりです。森林所有者、東京都農林水産振興財団と10年間の協定を結びます。

③ ずっとサポート 森づくり支援倶楽部

「花粉の少ない森づくり運動」を継続的にサポートできる会員制度です。森林整備や事業の普及啓発活動を行います。※①に一定額以上を寄付したすべての方が会員となります。

詳しくは <https://moridukuri.tokyo>

とうきょうの木についてもっと知りたい



多摩産材情報センター

多摩産材の利用促進と多摩地域の林業・木材産業の活性化を目的とし、多摩産材の利用者と供給者とのマッチングを行う窓口。センター内には東京のスギとヒノキを使った住宅の構造材や内装材、什器などが展示され、実物の多摩産材に触れることができる。

詳しくは ☎ <https://tamasanzai.tokyo>
青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎1F
(JR青梅線河辺駅徒歩10分)